

留学体験

21016077 田村 千怜

韓国生活全体について

今回の留学生活は家族と離れ、外国でするはじめての生活でした。そのため、生活に対する不安や緊張感を抱いていました。それは皆も同じだと思います。最初はストレスを感じ、苦勞もしました。それも、段々と慣れ帰国したくなくなった程勉強も楽しく、韓国で生活する事を好きになりました。

韓国語を思う存分習った事もそうですが、今回の留学生活で一番良かった事は世界各国、様々な国の人々と交流をした事です。仲間のおかげで楽しく過ごしながら酷いホームシックが消えていきました。

韓国へ行く前に、慶熙大学で留学した先輩がガボンと言う聞いた事もなかった国の人と仲良く過ごしたと面白い話をしてくれました。そしてその時、私も冗談でガボン人と友達になりたいと言いました。そして、ガボン人が一人しかいないにも関わらず偶然にも秋学期で同じクラスに入り、日本で言った通り私も友達になりました。他の人は一生会う事がないくらい遠い国の人です。ガボンから韓国まで 22 時間かかると聞きました。ガボンだけでなく日本も含め、積極的に優しく接してくれた中国、ベトナム、マカオ、マレーシア、ガーナなど世界各国の人々と一生懸命に勉強をして良い思い出を作りました。クラスメートだけでなく、その仲間達とも交流があったためたくさん話をして、韓国語の実力も伸びました。そして何よりも、担任のキムスルギ先生が、明るく気さくな方であったため、授業を伸び伸びとした空気感で受けることができました。

韓国で留学したことは私にとって忘れられない経験であり良い思い出になりました。これからも韓国語を続けて勉強していきます。

